

## 80歳棒高跳びジャンパーが世界大会に挑戦

～8月開催のフランス・マスターズ世界大会へ～

8月4日からフランス・リヨンで開催される世界マスターズ陸上競技選手権大会棒高跳びに河内長野市小山田町在住の堀野正さんが参加します。堀野さんはマスターズ陸上の棒高跳びで全日本大会9連覇、アジア大会3連覇中。

今年80歳を迎えた堀野さんは、山口県出身で、中学から陸上を、高校から棒高跳びを始めました。高校3年生の県大会では大会記録を更新する3m22を跳び優勝、インターハイにも出場した実績を持っています。

社会人になって競技から離れていましたが、57歳の時に新聞でマスターズ陸上の参加募集の記事を見つけたことをきっかけに再開、翌年から全日本大会に出場することに。その後、腰のけがで、競技には長く参加できなかったものの、審判員として関わり続け、70歳で再び選手への復帰を果たします。

現在、年に7～8回は大会に出場するという堀野さんは、週に1度は尼崎の陸上競技場に練習のため通っています。競技を続けていくためには「無理をしない」こと、そして目標を持つことが大切と語ります。

「バーを越えた時は気持ちいい」と話す堀野さん。現在の目標は、「世界大会で金メダルを取ること」、そして、「90歳で世界記録を塗り替えること」。堀野さんが抱く大きな夢への挑戦はまだまだ続きます。

